

第1回委員会が出された意見をもとに分類した項目に、第2回委員会のグループ討議で出された意見を加えました。

1.どんな市庁舎を目指すのか？（理念）

○市民に親しまれる明るい庁舎

- ・市民から親しまれる庁舎
- ・市民が親しみやすく、信頼ある庁舎
- ・市民の誰もが利用でき、気軽に来庁できる場所
- ・市民の方(特に障がい者、高齢の方)が利用しやすい機能性のある庁舎
- ・市民が立ち寄りやすい庁舎および障がい者・高齢者にやさしい庁舎
- ・交通の便がいい、人が集まる市役所
- ・市民が集える所

- ・わかりやすい庁舎
- ・わかりやすい
- ・もっとわかりやすい、スムーズに動ける庁舎

- ・市民が利用しやすく、福祉的にやさしい明るい庁舎
- ・明るく、市民が利用しやすくできるように建ててほしい
- ・内部がもっと開放的で明るい庁舎
- ・明るい庁舎
- ・明るい・入りやすい庁舎

※第2回委員会が出された意見

- ・本当の意味で開かれた庁舎
- ・オープンな感じ、間仕切りがないなど
- ・開放的なつくり(例：出入口を多く)
- ・市民のための市役所に
- ・市民が老若に係わらず利用しやすい場所
- ・市民と職員とが話をしやすい環境
- ・市民の一般利用度が高い内容の職場を1階に集合させ、その中にも目を楽しませるようなホットな場所を考えるといい
- ・各課を表に並べて市民が解り易い・見つけやすい位置に置くといい。現在探すのに一苦労！
- ・交通の便利な場所
- ・水のせせらぎ(鳥の声)が聞こえる庁舎
- ・音楽(BGM)が流れる庁舎

○市民交流を生み、活動を支える庁舎

- ・人にやさしい気軽に交流・連携ができる庁舎
 - ・高齢者・子育て世代の交流スペース
 - ・業務目的のみの利用ではなく、市民の憩いの場としても活用されるといい
 - ・休日遊びに来ることができたり、観光施設としても活躍できる施設になるといい
 - ・くつろげるスペース
-
- ・市民の活動が見える場所のある市庁舎
 - ・まちづくりの拠点となりうる庁舎
 - ・まちづくりへの連動・誘導できる空間を持った庁舎
 - ・20~30年後、現在の30~40代は高齢化してくるが、高齢者数は横ばいか減少してくる。したがって、高齢化対策中心の市役所にはしてほしくない。むしろ若者が集える市街中心地として位置づけられる庁舎にしてほしい
 - ・まちづくりの拠点になるような市庁舎を目指しているのであれば市庁舎と緑の公園と一体化した建物がほしい

※第2回委員会で出された意見

- ・1階をパブリックスペースに！街路の一部に！
- ・緑(木)と花のある庁舎
- ・公園(前庭・緑)と一体化
- ・広場の設置
- ・フロアが見渡せる庁舎
- ・市民と議会と行政の動きが可視化できる市庁舎
- ・休日に子供たちと遊びに来られるような
- ・子供たちも市役所と関われるように
- ・会議場などが市民と共用できないか
- ・中心市街地の活性化につながる庁舎を願います

○安心・安全の拠り所(防災拠点)

- ・安全・安心の拠り所となる庁舎
- ・災害に強い庁舎(防災拠点)
- ・防災拠点地
- ・災害に強い・対応した庁舎
- ・大災害時でも安全に使える堅牢性
- ・災害に強く市民に安心感を与える庁舎
- ・津波の時、屋上に避難場所を

- ・非常時の発電(太陽光・風力等)
- ・中心市街地での防災拠点と、宇部市の中心地となるような庁舎となればと思う

※第2回委員会が出された意見

- ・災害に強い建物
- ・浸水はあまりないかもしれないが液状化対策は？宇部は穴だらけ
- ・安全な場所に建てるべき
- ・情報発信の拠点
- ・災害時に市民への情報をいち早く発信する
- ・警備をしやすい建物

2.どこに建てるのか？

○建て替え場所

- ・市庁舎の建て替えが周辺市街地の活性化となるべく、現在地に建設していただくことを切望
- ・高齢者の人口が年々増えている、今の場所がバス停も近く利用度も高いのでは
- ・税務署をどこか(神原小と見初小の合併ならばそちらの場所)へ移設はできないか

- ・新川駅ビルの中に市庁舎、デパートの中に市庁舎
- ・新川駅、左右両方から乗り入りできれば、浜バイパス方面の活性化にもなる
- ・市役所と新川駅の統合

- ・現市庁舎の場所でなければ神原小学校の位置で。琴芝小との併合で可能性あるのでは
- ・小学校を統合して市役所としてはどうか

- ・現在地に建て替えるのは反対。現在地は新川市民センター(中央市民センター)の位置づけにして、主要な機能は常盤公園内に置くとよい

- ・駅前(新川駅、琴芝駅)+バスターミナルの設置
- ・琴芝駅前にあるシルバーふれあいセンター福祉会館の建物を転用して不足分の機能を建築しては

- ・どんどん賑わいのない現在の場所よりも、宇部が見渡せる高台に、新しい街をつくる感じで(市庁舎中心に)つくったほうが、市庁舎へ行くのも楽しそう
- ・市庁舎の建て替え事例で、周辺の活性化を実現できた他市を参考にできることは参考にし、中心市街地の核となりうる庁舎を建設してもらいたい
- ・場所：海拔が低い現在地は疑問

※第2回委員会が出された意見

- ・ 駅・バス停に近いこと
- ・ 駅あたりに集合建物、新庁舎
- ・ 現在地と周辺の関係
- ・ 津波のことを考えると高台の方がいい
- ・ 市役所が移動すると市の中心市街地はどうなる？
- ・ 神原小跡地は現実的に厳しいのでは？
- ・ 他の場所の基本情報(コスト概算)を出してほしい
- ・ 新川は現在の電車本数ではあまり効果が期待できない

3.どんな施設内容にするのか？

○ワンストップサービス(総合窓口)

- ・ 手続等ができる限り効率的になるように総合窓口等の設置
- ・ 総合案内所がほしい
- ・ 教育委員会は港町庁舎でこども福祉課は本庁舎となりとても不便なのでスムーズ化してほしい
- ・ (本庁舎に)教育委員会がある

- ・ 案内表示の充実

※第2回委員会が出された意見

- ・ 市民サービス部門を一元化
- ・ ワンストップサービスに動線を配慮
- ・ ワンストップサービス
- ・ 使いやすい窓口

○職員スペースの快適化 ※第2回委員会が出された意見

- ・ 事務空間のオープン化
- ・ 行政の仕事に喜びを感じる市庁舎
- ・ 労務スペースに余裕を持つ
- ・ 書類保管・利用スペースを確保
- ・ 仕事のしやすいフロア(正確かつ迅速だと心地よい対応になり市長もハッピー)
- ・ 専門部門で固めることで効率化？
- ・ 集中した連絡等ができる

○他機能の併設（市民利用施設）

- ・核としての機能を持たせて
- ・役所機能だけでなく求心力のある施設の併設
- ・新庁舎の中でミニイベントをやってほしい
- ・庁舎内で宇部の特産が購入できたり、食べられたりするスペースを設けてはと思った
- ・市民の集うコミュニティ広場の設置

- ・宇部市産品のショールームの設置

- ・庁舎と商業施設の合体(高層階にしてみても)
- ・商業施設の併設
- ・7, 8階建てにして、1階を市民課等よく使われるフロアにし、最上階は食堂・喫茶等にする。
また、小さな子供連れ、高齢者がくつろげる場所等の設置
- ・市庁舎を中心に、周りにどんどん新しい建物が建ち並んでいくというのはどうか？

※第2回で出された意見

- ・屋上に遊園地を併設する、観覧車？
- ・市長室は1階フロアにガラス張りで！
- ・1階にカフェを設置。C.C.Cに運営を委託、住民票等の発行も？
- ・文化が発信できる市庁舎
- ・図書館も統合する市庁舎
- ・ゆっくり本が読める市庁舎
- ・子育ての人に助かる乳幼児の遊び場所などを取り入れる
- ・高層化により住居部を設ける、マンション併設
- ・商業施設の併設
- ・彫刻展示場(美術館)の併設と、作家と市民の交流場所の併設
- ・交流場の併設(会議・文化施設)
- ・駐車場の屋根部分をイベントスペースとして利用可能に、同時に緑化
- ・1階に高齢者関係の受付相談、社協関係の問題点を併設してはどうか
- ・IT社会と対応した未来庁舎？
- ・階段状の建物にし、屋上を緑化・彫刻設置、一部を商業施設にレンタルする
- ・モラルを学ぶ場、学習の場＝市役所
- ・庁舎+ α 、 α ：宇部オリジナル(教育・福祉・産業…)
- ・宇部は色々な施設が分散している、もっと集約したい
- ・敷地を広くして他の機能を付加する
- ・アンテナショップ
- ・コンビニ

- ・一般の人が入れる食堂がほしい
- ・喫茶がほしい
- ・喫茶スペースで憩いの場
- ・スターバックスを入れる

4.どんなつくり方にするのか？

○環境にやさしい庁舎

- ・多機能で環境にやさしい庁舎
- ・環境にやさしい
- ・省エネを配慮した環境に優しく経済性に富んだ庁舎
- ・省エネ→自立型、将来性、建物自体でエコになるような
- ・エコまちを念頭に、交通機関とリンク
- ・地球環境を考える

※第2回委員会で出された意見

- ・冷暖房を細かくコントロールできる
- ・照明を細かくコントロールできる
- ・再生エネルギーの有効活用・技術の導入を！
- ・風力・太陽光などの自然エネルギー
- ・省エネに配慮

○ユニバーサルデザイン

- ・障がい者・高齢者にやさしい庁舎(エレベーター・エスカレーター)
- ・バリアフリーを取り入れた庁舎
- ・トイレはウォシュレットで身障者用を多く作ってほしい
- ・市民が出たり入ったり(少なくとも週1回以上)できるように

※第2回委員会で出された意見

- ・バリアフリー
- ・フリーアクセスフロア(スペース)であること
- ・高齢化に対応した構造
- ・少子化時代の市庁舎に
- ・トイレを広く、すべてをウォシュレットに

○ローコスト・省エネ

- ・多額の費用がかかるのでできるだけシンプルな構造で、省エネで固定費の少ない建物にしてほしい
- ・低コスト庁舎(市の財源が確保できる範囲)
- ・建設コストの抑制(たとえばマンション併設)
- ・最低必要限度の庁舎。今後職員数はどうなるのか。分散するのか集約するのか。
- ・防災・賑わい両方を求めると財源の問題あり。公共施設のダウンサイズをしながら財源の確保
- ・予算の範囲内でスペース的にもゆとりある施設が好ましい
- ・スモールタウンの中心となる施設
- ・建設費は72億円で18000㎡になるとのことだが、何階建てになるのか

※第2回委員会が出された意見

- ・シンプルな構造であること
- ・人口減少を考慮する、無駄を省く
- ・財政難の中、可能な限り無駄を省く
- ・時間・経費の制約あり、それを考慮すべき
- ・将来の子供たちにつけをまわしたくない
- ・建設費72億円は本当に要るのか?
- ・仮設をつくと無駄金がいる

○メンテナンスに配慮

- ・長期でもつ建物、メンテナンス性を高く
- ・長期的に利用できる市庁舎

※第2回委員会が出された意見

- ・長期間利用できる建物(税金で建てるので)
- ・建物の構造くふう

○駐車場のつくり方

- ・駐車場を広くする
- ・庭を広く、駐車場を広く
- ・2階：3階、4階へと上れるよう
- ・本庁舎と現在の駐車場へと続けて渡り廊下等で行き来できるよう
- ・北側駐車場等との一体整備
- ・駐車場の確保(土・日開放など)

※第2回委員会で出された意見

- ・ 駐車場とのアクセスの良さ
- ・ 駐車場を多く
- ・ 駐車場完備(近くに必要)
- ・ 駐車場を広く
- ・ 駐車場より傘なしで入れる
- ・ 使いやすい駐車場を

5.どんなプロセスでつくるのか？

○協働のデザインプロセス

- ・ 宇部市の様々な市民が市庁舎の建設を通して建てられる前も後もずっと関わっていけるような市庁舎にしていきたい
- ・ 宇部市民の皆さんが利用しやすい新庁舎を皆さんと一緒に話し合っていけばと思う
- ・ 市民・職員ともに使い勝手のいい施設になることを期待。そのため職員も若手や、市民についても小学生~大学生まで様々な意見をたずねる機会があればと感じた。
- ・ 点的なプロジェクトではなく、周辺に波及するシナリオが必要

※第2回委員会で出された意見

- ・ 市の考え方・構想等をはっきり示してリードしてほしい
- ・ 民間が積極的に入れるように
- ・ 行政及び議会で決まったことの情報提供
- ・ できれば市民・行政・議員とで同じ場所で話をしたい
- ・ 市民・行政・議会が対等な関係は、それぞれ一人一人の人間として「おたがいさま」の助け合いの精神が必要

○その他 ※第2回委員会で出された意見

- ・ 「花と緑と彫刻のまち宇部」と市庁舎は関係ない！
- ・ 他の自治体の成功取り組み事例は？
- ・ 高齢者も働く場所がある市庁舎
- ・ 議会棟は別棟としない、空いた時間に市民が利用できる制度と施設
- ・ 職員の対応の仕方、教育充実
- ・ 建物の階はマックス 15 階、もっと高くして 1 か所で用事済ませられるように(たこ足形式の庁舎をしっかりとめられる)
- ・ デザインよりは機能重視で

- ・トイレをきれいに
- ・イクメンのためにも男子トイレにもおむつ台がほしい
- ・商店街(周辺)との関係
- ・建てる時宇部の業者でやってほしい
- ・市役所でも何か(資源)が生まれる施設にしたい
- ・宇部市にお金がまわるように(還元)
- ・宇部市を **PR** できるところ
- ・宇部らしさとは？
- ・分庁舎集約させて、外の施設を売って建設費に充てる
- ・基本的に他施設の併設に反対
- ・機能性重視
- ・仮設庁舎絶対反対！完成後移転
- ・市民の募金・寄付を